

## 検体検査実施料新規収載のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年7月29日付「保医発0729第2号」厚生労働省保険局医療課長通知にて、下記の項目につき、検体検査実施料が平成23年8月1日より新規適用されることになりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

敬具

記

### 「検査実施料」の新規収載

点数区分	検査項目名	検査方法	実施料	判断区分 判断料	注
D001	尿中特殊物質定性定量検査				
14	ヒト尿中L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)	酵素免疫測定法 (ELISA法)	210	尿便 34	*1
D006-7	WT1 mRNA 核酸増幅検査、サイトケラチン(CK) 19 mRNA、 UDPグルクロン酸転移酵素遺伝子多型				
	WT1 mRNA 核酸増幅検査	リアルタイムRT-PCR法	2000	血液 125	*2
D007	血液化学検査				
15	アルカリフォスファターゼ・アイソザイム (骨型アルカリフォスファターゼを含む)	アガロース電気泳動法	96 <sup>※</sup> (48+48)	生化学 I 144	*3

※ 区分番号「D007」の「15」アルカリフォスファターゼ・アイソザイムに、区分番号「D007」の「15」アミラーゼ・アイソザイムを加算し算定する。

注: \*1~\*3につきましては、裏面をご覧ください。

## 注意点

- \* 1: ア ヒト尿中L型脂肪酸結合蛋白は、「14」の尿中IV型コラーゲンに準じて算定する。  
イ 原則として3月に1回に限り算定する。ただし、医学的な必要からそれ以上算定する場合には、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- \* 2: WT1mRNA核酸増幅検査は、リアルタイムRT-PCR法により、急性骨髄性白血病又は骨髄異形成症候群の診断の補助又は経過観察時に行った場合に1月に1回を限度として算定できる。
- \* 3: 「15」のアルカリフォスファターゼ・アイソザイムは、アガロース電気泳動法によって、一連の検査によって同時に、骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)を測定した場合には、「15」のアミラーゼ・アイソザイムをさらに加算する。ただし、区分番号「D008」内分泌化学検査の「14」の骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)と併せて実施した場合には、当該加算は算定できない。

### アルカリフォスファターゼ・アイソザイムと病態

アイソザイム	由来	出現する病態
ALP1	肝・胆管細胞膜と結合した高分子ALP	閉塞性黄疸 細胆管の炎症
ALP2	肝由来、低分子	細胆管炎など 薬物誘導性肝障害
ALP3	骨由来	小児期では生理的、骨の腫瘍、悪性の腫瘍の骨転移、 甲状腺疾患、糖尿病、慢性腎不全
ALP4	胎盤由来 (腫瘍産生Regan アイソザイムなど)	妊娠 腫瘍産生 (肺癌、卵巣癌で多い)
ALP5	小腸由来	血液型B・O分泌型にて食後に出現する(生理的) 肝硬変症
ALP6	ALP結合性免疫 グロブリン	潰瘍性大腸炎で頻度高い 背景に自己免疫(?)